

INTER KYOTO

インターキョウト



2005.10.5 No.27

社団法人京都府情報産業協会
発行：広報委員会

会長直言

クールビズの取り組みに本質を見る

(社)京都府情報産業協会 会長 植田 弘毅

日一日と秋の深まるのを感じる昨今ですが、それにしても今年の夏は記録的な猛暑でした。当社では、この猛暑に対して政府が推進している「クールビズ」を導入しました。この導入の端緒において、冷房温度を28度に設定してノーネクタイ、これで端正な服装風紀が守れるか、経営幹部が率先できるか、緊張感がなくなる、女性社員はどうするのかなど、切り口はクールビズ・ファッションでした。

私は、「目的を明確に、かつ定量化できない経営行動は無駄」と決めつけてきました。この考えからクールビズの社内議論に一石を投じ、何のためのクールビズか、目的は地球温暖化防止京都会議で採択された「京都議定書」、とりわけ議定書採択の地にふさわしい企業としての参加でなければならない、としました。

このことにより、社内では「京都議定書」「京都市地球温暖

化防止条例」「チーム・マイナス6%」を知るところとなり、京都議定書発効初年度の取り組みとして、「使用電力量の削減目標2%」を掲げ、冷房温度28度の設定とクールビズの導入 休憩時間の消灯励行 毎水曜日のNO残業デーを実施しました。9月末でクールビズのキャンペーン期間を終了しますが、緊張感がなくなるとしてノーネクタイからすぐにネクタイ着用に戻った社員もいました。

しかし、懸念された風紀の乱れも見られませんでした。今年の取り組みを足がかりに、京都議定書の定める2012年を待たずに、環境経営企業を目指す方針です。



情報
コラム

8

中小企業に広がるデジタルデバイド

京都商工会議所 中小企業経営相談センター
所長 坂口 俊一

京都商工会議所の会員会社は約11,000社である。会員会社には義務ではないが、電子メールアドレスの申告をお願いし、いただいたところにメルマガジンを発行している。会員のメルマガジン登録者は1,000社程度である。したがって、会議所から企業へ向けて様々な形で情報発信しているが、電子メールで情報を届けている会社は10%程度でしかない。会議所の会員の大半が中小企業であることから、中小企業のIT化は想像以上に遅れている。

以前、ある質屋さんから質流れ品のネット販売の相談を受け、具体的にホームページ運営やメルマガの発行などについて指導したところ、半年もしないうちに売上が10倍にもなった例がある。また、アパレル関係のオリジナル商品を製造販売している会社が、従来の卸会社経由では売れなくなったので、ネット販売に切り替えを図ったところ、売上が回復してきている。少しだけまともな努力と工夫をただでかなりの成果が出てくるということは、ビジネススタイルそのものがまだまだ新しく未成長領域であるということだ。

つまり、従来のやり方にしがみついても売上が減少させている中小企業のほうが、はるかに多いのではないか。この状況は少なくとも商工会議所のメルマガ利用会員の率が5割を超えるまで続くであろう。電子メールが扱えないところへはファクシミリを配信している。いっそ電子メール以外の情報は発信を止めて、IT弱者にデジタルデバイドを積極的に感じられる機会を作ったほうが、中小企業の支援機関として親切ではないかと感じている。

<http://www.kyo.or.jp/kyoto/index.shtml>

第3回・第4回 経営研究会

開催報告

主催：経営委員会



講師の中谷博志氏

第1回目はコンプライアンス・プログラムをいかにして作成するか、第2回目は申請から現地審査まで、現場での実際の行動や教育の重要性などについての内容でした。プライバシーマーク取得コンサルタント業務の経験に基づいた具体的で実践的な内容であり、出席者からは具体的な質問が出て、非常に充実した内容でした。会員各社のプライバシーマーク取得に向けて大いに寄与できるセミナーとなりました。



プライバシーマーク取得を目指して
会場に熱気があふれる

開催日時：(第1回) 2005年7月21日(木) 15:00~17:00
(第2回) 2005年9月15日(木) 15:00~17:00

場 所：京都全日空ホテル

テ - マ：「プライバシーマーク取得に向けて」

(第1回) その1. 申請までの準備 (第2回) その2. 申請の進め方

講 師：(株)京信システムサービス 執行役員 中谷博志氏

参 加 者：(第1回) 14社から19名 (第2回) 10社から16名

情報交換 広場

開催報告

主催：経営委員会

今回の情報交換広場開催にあたり、会員13社から事前にアンケート調査をおこない、その集計結果をもとに各社の現状が報告されました。引き続き、意見交換がおこなわれ、新卒者の採用は昨年より厳しい状況で通年採用に頼らざるを得ないなど、各社同じような悩みの報告でした。しかし、人材確保のために募集媒体、雇用形態などで工夫されている企業が多く、今後の参考となる大変有意義な情報交換の場となりました。

開催日時：2005年8月18日(木)
18:30~21:00

場 所：ばるるプラザ京都 6F

テ - マ：「人材採用の各社取り組み」

出 席 者：12社から18名

人材採用のあり方について
幅広く意見交換



SE研究会 キックオフセミナー & 交流懇談会 開催報告

主催：技術委員会

技術委員会の今年度の事業として、9月から3つのテーマ 品質 新技術&開発効率 情報セキュリティを取り上げ、「SE研究会」を開催します。この「SE研究会」開催に先立ったキックオフセミナーとして、大阪電気通信大学の総合情報学部 石桁正士教授から「SEの価値観とやる気」の講演をいただきました。“やる気のメカニズム、やる気の持続の大切さ、価値観の維持の大切さ”といった「やる気の研究」に始まり、“能力の構造：能力=やる気+技能、仕事の能力=仕事の価値観+スキル”であり、仕事の上でも「やる気の元の価値観の育成」が必要であり、SEの心得を再認識する講演でした。

引続き「SE研究会」へ参加する方々とSE研究会担当世話役(技術委員会委員)との交流懇談会を開催し、実のある「SE研究会」にするための積極的な意見交換がおこなわれました。

開催日時：2005年9月13日(火) 16:00~19:30

場 所：平安会館

(第1部) 技術セミナー

テ - マ：「SEの価値観とやる気」

講 師：大阪電気通信大学 総合情報学部教授 石桁正士氏

参加者：20社から36名

(第2部) 交流懇談会

参加者：20社から30名



講師の
石桁正士教授



交流懇談会での乾杯

会員だより

会員企業、社員の皆さんのユニークな取り組みやトピックスを紹介するコーナー。
我こそはと思われる方は、自薦・他薦を問いませんので、ぜひ事務局までお申し出ください。

元気印の企業紹介

(株)日新システムズ

信頼と実績を重ねて顧客満足を獲得

“人にやさしいソフトウェア”というスローガンを掲げ、あらゆる工業分野の監視制御に関わるソフトウェアや組込システムの開発、ライセンス事業（リアルタイムOS事業、ミ



第8回ESEC組込みシステム開発技術展
6/29～7/1開催（東京ビッグサイト）

ドルウェア事業）の展開に取り組んでいる『日新システムズ』。透明で公正公平な企業活動を目指して、何事もオープンな雰囲気意識しています。

最近、最も力を注いでいるライセンス事業およびネットワーク事業では、組込関係のソリューションセミナーを開催したり、技術提携をおこなっている海外企業と共同で“デバイスサーバー・テクニカルセンター”を開設するなど、顧客の信頼と満足を獲得すべく品質の向上（バグの撲滅）活動に力を注いでいます。また、国内の様々な展示会に出展、その優れた製品・サービスは高い評価を得ています。

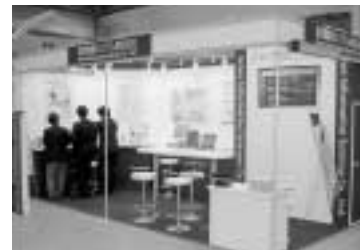
「ユーザーとの強力な信頼関係を築いていくために、さらなる技術力のアップを目標にしています」。これからの活躍にますます期待が高まっています。

京都市下京区堀川通綾小路下ル綾堀川町293-1
堀川通四条ビル
TEL 075-344-7880
URL <http://www.co-nss.co.jp/>

星和情報システム(株)

最先端の情報システムを活用して幅広いサービスを提供

情報化推進コンサルティング業務を中心に、企業内ビジネスシステムの構築・運用管理など、20年以上に及ぶ実績を誇る『星和情報システム』。産業用情報機器のリーディ



2003年5月
ビジネスショー大阪展示会にて

ングカンパニーである星和電機で培われたUNIXやデータベース運用技術を軸にお客様の視点に立ったシステム提案が好評を得ています。最近では、従来からのWebアプリケーション開発に留まらず、KRPデータセンターを利用し、システム構築から運用保守まで一貫したサービスを提供。多様化する顧客ニーズに迅速に応えるレスポンス体制を整備しています。

今後は、京都市リサーチパークという絶好のロケーションを生かし、KRP内企業とのアライアンスを積極的に進めながら、それぞれの企業が持っている強みを新技術開発に反映させ、より幅広いスキームをこなしていきたいと意気込みを示しています。

今年4月、京都府情報産業協会に入会して、「オンラインの企業が集まり協力することによって、新しい発想やモノづくりのヒントを得ることができれば…」と期待に胸を膨らませています。

京都市下京区中堂寺粟田町93 京都市リサーチパーク4号館7F
TEL 075-325-3130
URL <http://www.seis.co.jp/>

我が社のイチオシさん!



吉澤 菜美さん (株)サンモアテック 開発事業部開発2部

趣味の旅行で、感動体験!!

私の趣味は旅行です。旅行を趣味とするようになったのは、大学に入ってからのことでした。大学以前は金銭面や行動範囲などの理由もあり、趣味と言えるほどではなかったのですが、大学で出会ったスキューバダイビングをするために様々な場所へ行くにつれて、いつもと違った環境に囲まれる感覚と、その土地その地方の文化や習慣

も学べる楽しさを知り、旅行が趣味になりました。旅行によって多くの経験や知識を得ることが出来、例えば、つい先日の旅行では日本一の富士登山へも挑戦し、登頂の達成感を味わいました。

学生から社会人になり使える時間が大きく変わり、時間の大切さを前よりも実感出来るようになったので、限りある時間を大切にしながら日々の仕事も頑張り、仕事も趣味も共に充実した毎日を送りたいと思います。

協会だより

正会員 60社
特別会員 1名
賛助会員 7社

事業推進委員の積極的な会員増強運動により
成果を得ることができました。
会員の皆様も入会紹介、勧誘にご協力下さい。

お知らせ

経済産業省情報化月間協賛 京都情報化オープンフォーラム 開催

日 時 : 2005年10月14日(金) 16:00~17:30
場 所 : 平安会館 白河の間(京都市上京区烏丸通上長者町上ル)
テーマ : ケータイビジネスを取り巻く環境と
モバイルソリューションの新展開
講 師 : (株)NTTドコモ関西
ソリューションビジネス本部 ソリューション技術部長 片山 龍夫 氏
共 催 : 京都府中小企業技術センター
後 援 : (財)京都産業21

日々進歩するIT技術は、ともすると取り残されてしまいそうな勢いで進化の速度を速めています。そこで、本フォーラムでは、携帯電話の機能の多様化などにより、今後ケータイビジネスを取り巻く環境がどのように変化していくのか、“モバイルソリューション”に注目したセミナーを開催します。

ご出席の連絡は10月7日(金)までに京情協事務局宛にお願いします。

第3回 経営研究会 開催

日 時 : 2005年10月20日(木) 15:00~17:00
場 所 : 京都全日空ホテル
醍醐の間(2F)
(京都市中京区堀川通二条城前)
テーマ : 企業の価値を高めるためには
~財務上強化すべきポイント~
講 師 : 京都信用金庫OB 植村 憲三 氏

晩秋の恒例イベント!

第8回 ボウリング大会 開催



日 時 : 2005年11月18日(金) 19:00スタート(予定)
場 所 : MKボウル上賀茂(京都市北区上賀茂西河原町)

平成17年度

新春オープンセミナー 開催



日 時 : 2006年1月17日(火) 午後~
場 所 : 平安会館
詳細は後日お知らせします。

グリーンサミット 開催報告

実施日: 2005年9月3日(土)
場 所: 信楽カントリー倶楽部杉山コース(東, 西)
参加者: 16名(4組) 天 候: 晴れ
成 績: **優 勝** 吉村 敬史氏(京都コンピュータ学院)
準優勝 小島耕一郎氏(近畿リサーチセンター)
第3位 木下 豊氏(エクザム)

残暑厳しい折ではありましたが、参加者は日頃の練習成果を発揮されました。グリーン上での情報交換が活発におこなわれ、有意義なグリーンサミットを開催することが出来ました。



Coffee break

~ミニ・ボエム~



野菜売りの茄子は 流線型のひかりを湛えていた。
あんなふうには さりげなく なかなか きれいにはなれない。
きみは、デパート地下の生ジュースが好きだ。
きみは、ジュースでこなごなにされたバインを
大切にストローで吸い集める。
なにかが僕のなかで変わり始めている。
鮮明な広場は 今日も雨に濡れてしまうけれど。

ジョナサン

編集後記 インターキョウト27号をお届けします。10月からは、情報化フォーラム、ボウリング大会など、会員相互の関係を深める機会が多数ございます。会員同士の密接な連携を図ることが、結果として、会員各社の発展と、ひいては京都における情報産業の進展に繋がるものと存じます。是非、各種行事には積極的にご参加ください。またオープンマインドを掲げる京情協の広報誌として、本誌は会員以外の多くの皆様にもお読みいただきたいと思います。感想やご意見などお寄せいただければ幸いです。(Y)

京情協 WEB CONTENTS <http://www.kyojyokyo.or.jp>